

自己評価および外部評価結果

セル内の改行は、(Altキ-) + (Enterキ-)です。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	アットホームな安心できる家として、地域に馴染めるよう、理念と目標を玄関に掲示しホーム案内パンフレットにも記載しています。	「家庭的な安心できる場所、笑って過ごせる家をめざす」ことが理念に掲げられている。職員は研修や全体会議でこの理念を共有し、家庭的で明るいホームづくりに取り組んでいる。	できれば理念の中に、地域密着型の意義を踏まえた内容も含まれることが望まれる。
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の自治会より招待いただき、夏祭りに参加し、地域の老人会・子供会のご協力で秋祭りにはホーム裏にて目の前でお神輿を見て楽しませていただきました。	自治会に加入し、地域の盆踊りに参加したり、秋祭りのだんじりを事業所横を通ってもらって楽しんだりしている。近くにあるコミュニティーセンターに出かけて、地域の人と交流している。地域ボランティアの受け入れも進めている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣の自治会の総代の方へのご説明や運営推進会議などで老人会・民生委員の方の質問にお答えしています。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームの運営状況や行事・活動・入居者様の生活状況の報告を行い意見をいただいています。	運営推進会議は、市の担当者、地域包括支援センター職員、民生委員、老人会役員、利用者代表などが参加し、2ヶ月に1回開催されている。近隣グループホームの管理者も参加してアドバイスを頂き、サービス向上に活かしている。	
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議に地域包括支援センターの方にも参加していただき情報交換の場を設けています。保護課の方との連携も図っています。	開所1年目であるので、市の担当者とは直接に連絡をとり、わからないことを聞いて運営やサービスの向上に活かしている。生活保護の利用者も受け入れており、市の担当部署と密に連携しながら支援している。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	外部研修に参加し、その後施設において内部研修を行い職員間で周知理解を深めています。	身体拘束禁止のマニュアルがあり、内部研修を行って実践につなげている。1階玄関は、普段自動ドアのロックを解除している。家族の強い要望により、安全面から1名車いすベルトを実施しているが、少しずつ外す取り組みを行っている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修に参加し、その後施設において内部研修を行い職員間で周知理解を深めています。また、管理者は日常的に職員とのコミュニケーションを図り、状況の把握に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修に参加し、施設にて職員の理解に努めています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約や改定等は家族様に説明を行い、質問にもお答えしご理解頂ける様努めています。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	アットホームな雰囲気の中で面会時にはお声を掛けさせて頂き、ご意見ご要望を話しやすい環境に努めています。	面会に来られる家族が多く、最近の利用者の様子を伝えると共に、家族の気になることなどを聴き取っている。毎月利用料を直接持参される方が多く、その時に要望も聴いている。利用者からは日頃食べたい物を聴いて、メニューに反映している。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に全体会議を行い、職員間の意見交換の場を設けています。また、個別にも意見や相談がしやすい環境づくりに努めています。	毎月、委員会と全体会を開いており、管理者は職員から意見や要望を聴いている。半期に1度職員の個別面談を行い、思いを聴いている。職員が言いやすい雰囲気をつくり、その意見を取り上げながら、サービスの向上につなげている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	常に職員の勤務状況・職員個々の実績や努力を把握し働きやすい職場環境が整備できるように努めています。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修に参加し、職員の知識や技術の向上に繋がる様に努めています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営推進会議に参加していただき、意見や情報の交換ができる様にしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	生活環境が変わることによる心身の負担を最低限に抑えられるように面談に伺いお話しをし、安心してご入居頂けるように努めています。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご見学・ご相談の際より話しやすい雰囲気作りに努めご家族様の思い、不安など受け止め、不安が無いように努めています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ホームでの生活上の希望やケアの方向性を話し合い、状況に応じて必要なサービスの情報提供を行っています。		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個人のペースにあわせ、自分らしく暮らしの継続が行える様に支援しています。		
19		本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時間にこだわらず、ご来訪していただきやすい雰囲気作りを心がけ、ご本人の日々の様子など話せる関係作りをしています。行事にも参加いただき入居者様と楽しい時間を過ごしていただける様に努めています。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族様以外の面会者にも来訪しやすい雰囲気作りを心がけています。	家族だけでなく、利用者の近所の方が野菜を持って面会に来ることがある。訪問理美容を利用しているが、馴染みの美容院に、家族や職員が付き添って行くこともある。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の間関係も様々ですが、職員が仲介役として良好な人間関係が築けるよう努めています。		
22		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居された後も、再入居をご希望される状況も踏まえ、居室の空状況など声かけさせていただき、変わらない関係づくりに努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様一人ひとりの希望や思いを日々会話等から聞いたり、気づけるように努めています。困難な場合はご本人の様子や表情・言葉を見逃さずご家族様と相談し考えています。	普段のコミュニケーションを大切に、食べた物や買いたい物、行きたい所やお風呂の時間など、利用者一人ひとりの意向の把握に努めている。	アセスメントシートの記録は、病歴やADLが中心になっているが、利用者の生活歴、趣味や特技、生きがいなどの情報を記録し、利用者の人柄や意向を把握するための、更なる工夫が望まれる。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前からご本人・ご家族様・各サービス事業所から情報収集を行い、職員間で情報共有に努めています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別ケア記録から状態の把握に努め、定期的にケアカンファレンスを行い確認しています。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	3ヶ月ごとにモニタリング・ケアカンファレンスを行い、職員・かかりつけ医などと話し合い計画に反映するように努めています。	利用者や家族の思いを踏まえ、かかりつけ医の意見を参考に、職員が意見を出し合って介護計画が立てられている。3ヶ月ごとにモニタリング結果をまとめ、それを活かして新たなプランを作成している。	ADL中心のプランが多いように思われる。利用者の生活歴や生きがいなどを参考に、利用者の笑顔が増えるプランも加えればさらに良いと思われる。
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人ファイルを作成し日々の様子やケアの実践等記録し、職員間での共有を図り3ヶ月ごとの介護計画の見直しを行っています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	常に個別のサービスが行えるように管理者・計画作成担当者・フロア職員との連携を図り努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	毎日近隣スーパーへ車で買い物に出かけている。ボランティアの方に来ていただき地域の交流を楽しんでいる。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の往診で健康管理を行っています。必要に応じて希望する医療機関の受診・入院等の支援を行っています。	かかりつけ医が毎週訪問し、ユニットを隔週ごとに往診している。歯科医については、必要に応じて往診する。利用者個々のかかりつけ医については、基本的に家族が付き添って通院することになっている。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員として看護師を配置しています。日々の健康管理・異常の早期発見に努めています。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の病院と連携を図り面会を重ね、入居者様が安心して療養できるよう努めています。往診医も含め退院後のホームでの生活を検討しています。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ターミナルケアは実施しています。往診医とご本人・ご家族と相談し連携していきます。	ターミナルケアの指針がつけられている。利用開始時にそれを説明をし、実際に重度化した場合は、ターミナルケアの同意書を交わしている。法人内の他のグループホームで看取りの経験があり、職員は研修を行って、方針の共有や技術の習得に取り組んでいる。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	勉強会などで職員が周知できる様その都度おこなっています。		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年二回消防の立会い・自主訓練にて避難訓練を実施しています。火災・災害に応じ昼夜を問わずスムーズに避難できるように努めています。	防災マニュアルを作っており、年2回避難訓練を実施している。2階のユニットには、避難用の階段と広いテラスが設置されている。非常用の食料や水の備蓄もおこなわれている。運営推進会議でも議題として取り上げ、地域との連携を図っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	定期的に行う会議にて職員が常に意識を持つ様に努めています。	一人ひとりの生活のペースを大切に、食事の時間帯などを工夫している。利用者の生活歴や性格に配慮した声かけを心がけている。往診時は、プライバシーに配慮し各居室で診察してもらっている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個別に会話を持つ様にしご本人の思いや、要望を確認出来る様努めています。意思表示が困難な方へは表情・言動・行動で理解出来る様努めています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務優先にならないよう個々のペースにあわせ対応するように心がけています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理美容に来て頂き、個人の希望に沿ってお願いしています。今までの生活を継続するため毛染めなども行っています。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご入居様のご要望を聞いたり、個々に沿った調理の内容も工夫しています。職員と一緒に準備し食事を楽しみ、後片付けをしています。	毎日、職員と一緒に利用者が交代で食材を買いに出かけている。一週間分のメニューは決まっているが、利用者の要望で変更することもある。一緒に準備し、一緒に食べて、とても家庭的な雰囲気がある。誕生日のケーキも、手作りしている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者様一人ひとりに合わせた量を提供し、食事量・水分量の記録をつけ把握する様にしています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声かけ、付き添いを行っています。必要な時は、歯科往診に来て頂いています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し定期的に声かけや介助を行い、失敗を減らす様にはしています。出来る限りオムツに頼らずトイレにて排泄出来る様努めています。	一人ひとりの排泄パターンを把握し、タイミング良い声かけを心がけている。毎日トイレで座って排泄できるように支援し、できるだけおむつやリハビリパンツを使わない取り組みをして、布パンツに戻った利用者もいる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の排便を記録し把握、水分補給を促し、便秘の改善に努めています。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	基本的に毎日、夕方から入浴して頂いています。個々の体調や気分に合わせて個別にゆっくりと入浴して頂いています。	利用者の生活習慣を大切に、毎日夕方から入浴できるようにしている。入浴時には、職員とのゆったりとした会話を楽しんでいる。また、ゆず湯や菖蒲湯などで季節感を感じられるよう工夫している。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々のペースに合わせて休憩して頂き、就寝時間も個々に合わせて入眠して頂いています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルに薬情報を綴り、職員が周知し内用を把握できる様に努めています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活リズムを整え、個々に合った役割を職員と一緒にしています。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外食や買い物に行く機会を持つ様にしています。個々のご要望を出来る限り支援出来る様努めています。ご家族様との外出も自由に出掛けて頂いています。	天気の良い日は、市の総合公園や近所を散歩したり、駐車場で体操をしたりしている。毎日利用者が交代で、スーパーに食材を買いに出かけている。毎月企画を考え、大型商業施設に行ったり、カラオケや花見、温泉などに出かけたりしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的にはご家族様に管理をして頂いています。ホームでは小口をお預かりし管理し外出の際、職員見守りを行い支払い等も行って頂いたりします。ご希望により小額ですが所持されている方もおられます。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望があればホームの電話を使用して頂いています。ご家族様の電話を取り次いだり、郵便の受け取りなども支援しています。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂・リビングにソファやテレビを置き、ゆっくりとくつろげる雰囲気而努力しています。大きな窓から外を見たり壁に飾りつけをし季節感を感じられるように努めています。	居間は比較的ゆったりとしており、西側に広い窓があって明るく開放感がある。そこにはテーブル席のほか、ソファも置かれている。廊下沿いに2部屋に1つトイレが設置され、男性用便器も置かれ、とても使いやすい。2階には、バルコニーがあって、プランターで野菜を育てている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアで過ごす時間の中で気の合った方同士の席の配置やソファを置き配慮しています。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人ご家族様と相談し居心地良く過ごせる様に好みの物を持参して頂いています。	居室には洗面台があり、介護用ベッドとチェストが設置されている。居室内に持ち込むものは、家族や利用者や相談し、使いやすい家具を配置して利用者が安心して落ち着いた生活ができるように支援している。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	生活リハビリを中心にそれぞれが出来る事を行なって頂き自立支援をしています。廊下には手すりの配置や各場所には表示や居室には表札を揚げわかりやすくしています。		